

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネス施設に要する一般的経費	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	ウェルネス施設の管理に要する一般的事務経費を必要最小限計上している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	サービスの向上、利用者の拡大を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市内ウェルネス施設利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	指定管理者の管理運営や収支状況を把握し適正な指導を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	114千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	114千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	114千円	133千円	131千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の管理に要する経費として必要最小限であり、このまま維持すべきである。

事務事業名	ウェルネス施設に要する一般的経費	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ施設予約システム管理 運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和62年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	本システムは利用者に広く定着しており、また、施設の利用予約には欠かせないものとなっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内のスポーツ施設等の予約を手軽に行うことができるようにし、利用者のスポーツ・レクリエーションの普及を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	スポーツ施設等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市内のスポーツ施設等を利用者がインターネットを通じて予約することができるシステムの保守点検を実施する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	3,396千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,396千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	3,396千円	3,396千円	3,396千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、システムに対する利用者の満足度も高いため、引き続きシステムの運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ施設予約システム管理 運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネスパーク管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川ウェルネスパークの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	総合的な生活環境の創造、向上を図り、もって健康で文化的な市民生活を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	健康増進施設、音楽ホール及び図書館などの施設の利用を通じて積極的な健康づくりを支援する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	306,767千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,792千円
	一般財源	303,975千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	306,767千円	306,909千円	304,813千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネスパーク管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	40,335	43,082	19,810
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	557,598	564,799	580,529	平成35年度	476,400
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネス施設維持補修事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	ウェルネス施設全体の老朽化が進んでおり、維持補修の頻度が高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	安心・安全に施設を維持することにより、スポーツ・レクリエーション活動への参加意欲の向上を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の維持補修を行う。

【コスト】

		平成30年度(決算見込)
事業費合計		13,268 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	7,286 千円
	地方債	千円
	その他特財	90 千円
	一般財源	5,892 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	040ウェルネス施設維持補修事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	13,268 千円	26,341 千円	37,084 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の安全安心を維持し、施設の長寿命化を図る計画的な維持補修事業を実施する必要がある。

事務事業名	ウェルネス施設維持補修事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウォーキングセンター等管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市ウォーキングセンターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	健康意識の高まりによりウォーカーの人口が増加傾向にあるなか、ウォーキングコースに隣接し、自然豊かな環境に位置する本施設を活動拠点にする利用者は多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自然とのふれあいを通じて自然への関心と理解を深め、自然環境の保全と歴史や文化に関する学習の促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設を適正に維持管理するとともに、施設を通じて身近な地域を散策し、自然への関心と理解を深める。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	6,278千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	6,278千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	060ウォーキングセンター等管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	6,278千円	5,885千円	5,885千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設利用者の満足度は高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウォーキングセンター等管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	9	4,000	4,223
モニタリングの回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	平成30年度より、指定事業を追加したため、ほとんどの事業が指定事業に移行し、また、展示関係の事業については共用ホールで行うため、入場者数と同数となるので対象外としたため、実績値、計画値、目標値が前年度より大きく変わっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	3,506	4,575	3,582	平成35年度	4,900
成果指標分析結果	夏季の台風、大雨等の影響で前年度比減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ交流館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成13年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川スポーツ交流館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われているが、住民の健康志向の高まりを受け、施設の利用は順調に推移している。今後市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。また、平成31年度より指定管理者が交代した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。健康増進施設の利用を通じて積極的な健康づくりを支援する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	74,628千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	389千円
	一般財源	74,239千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	74,628千円	73,725千円	72,025千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ交流館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	2,190	1,289	1,372
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は事業数増により増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	148,234	148,131	143,736	平成35年度	155,600
成果指標分析結果	施設利用者はスタジオプログラムへの参加を中心として、一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成12年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川海洋文化センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づき、民間事業者により管理運営が行われているが、子供連れの家族を中心に施設を利用する者は多い。今後も市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。また、平成31年度より指定管理者が交代した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域の人々の交流を促進する複合文化施設の役割を果たす。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の適正な管理運営を行うとともに海洋文化に関する知識の普及を図る。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	77,794千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	600千円
	一般財源	77,194千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	77,794千円	77,794千円	77,573千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く満足度も高いため、引き続き施設の運営を図っていく。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	18,733	17,461	18,570
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	196,299	211,676	228,363	平成35年度	235,700
成果指標分析結果	H28年2月に近隣に新図書館がオープンした影響がH30年度においても影響し、前年度比減少したと推測される。また、7月～9月の台風接近による臨時休館も影響している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	志方体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立志方体育館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われており、周辺地域の住民を中心に多くの利用がある。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

		平成30年度(決算見込)
事業費合計		5,910千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	23千円
	一般財源	5,887千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	5,910千円	5,937千円	5,964千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	志方体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	2,319	2,088	2,138
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は、教室への参加者増で前年度比で増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	25,666	27,845	27,373	平成35年度	29,100
成果指標分析結果	7月、8月の大雨や9月の台風等天候不良が大きく影響し利用者数は前年度比で減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	志方東公園テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われているが、今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	3,214千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	26千円
	一般財源	3,188千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	3,214千円	3,214千円	3,275千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 利用者の満足度も高く引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	志方東公園テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10/1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	762	673	706
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数はテニス教室の参加者数増により増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	6,446	6,112	6,161	平成35年度	6,800
成果指標分析結果	自主事業参加者数増等により施設利用者数は増加している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	漕艇センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成7年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づく管理運営が行われている。市内の学校利用も盛んに行われており、市内外問わず多くの利用実績をあげている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	漕艇活動の振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	26,613千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	50千円
	一般財源	26,563千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	26,613千円	26,613千円	26,613千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	漕艇センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	1,508	1,253	1,715
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	18,262	22,628	22,397	平成35年度	23,500
成果指標分析結果	利用者の最も多い7月に大雨による水面利用禁止があり、利用者は減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園グラウンド管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成18年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は、主に各種目団体を中心に非常に高い利用率で稼働している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,777千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	11千円
	一般財源	2,766千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,777千円	2,777千円	2,777千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園グラウンド管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10/1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	2,777	2,580	2,544
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	57,587	60,917	60,418	平成35年度	63,500
成果指標分析結果	夏季の荒天による予約キャンセルや、学校利用（マラソン大会等）が減少したため、前年度より施設利用者は減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園第2テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われており、概ね順調に管理運営がなされている。また、近隣市町村では珍しいアンツーカコートを有しており、希望するニーズに応じている。一方で、冬季には霜がおりやすく、休場日が多い傾向があり、施設の維持管理に難しい課題がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図ると共に、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民および利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	670千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	33千円
	一般財源	637千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	670千円	670千円	670千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園第2テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	156	856	1,871
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	コーチが1人辞職したことにより、テニススクール数が減少し、自主事業の入場者数が大幅に減少した。(H31年度からはコーチの補充が行われ通常通りのテニススクール数で行われる予定)			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	6,078	6,137	8,639	平成35年度	7,300
成果指標分析結果	夏季の大雨、台風と自主事業入場者数の減少により、施設利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園野球場管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和58年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	施設の利用は、種目協会を中心に高い利用率を維持できている。なお、平成24年9月の野口野球場の閉鎖に伴い、硬式野球での利用の要望が高まっているが、ファウルボールが近隣の住宅に飛び込むため、硬式の試合は禁止している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	16,365千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	262千円
	一般財源	16,103千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	16,365千円	16,732千円	16,365千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園野球場管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	125	31	33
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は自主事業数の増により増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	14,839	15,874	18,588	平成35年度	16,700
成果指標分析結果	夏季の悪天候や中体連の参加者減等で前年度比で減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山市民プール管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和52年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市民プールの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度への移行に伴い、現在は民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は順調に推移しているが、老朽化が著しく、大規模改修が必要な状況である。また、他市で起こった事故等により、住民の安全安心に対する関心が高まっている中、万全な管理運営が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健康づくりとレクリエーションの振興を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	4,176千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	56千円
	一般財源	4,120千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	4,176千円	3,480千円	3,480千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山市民プール管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	786	718	509
モニタリングの回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	26,988	29,300	31,053	平成32年度	31,200
成果指標分析結果	台風等悪天候により前年度比減少しているが、施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和53年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立日岡山体育館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	59,542千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	629千円
	一般財源	58,913千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	59,542千円	59,542千円	59,542千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡山体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	12,827	12,261	13,005
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	126,396	126,829	130,971	平成32年度	133,800
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	浜の宮市民プール管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市民プールの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度への移行に伴い、現在は民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は順調に推移しているが、老朽化が進んでおり、適宜、設備改修を行っている。また、プール事故への適正な対応が行えるよう、指定管理者には万全な管理運営を求めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健康づくり及びレクリエーションの振興に寄与する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	6,647千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	24千円
	一般財源	6,623千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	6,647千円	6,647千円	6,647千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	浜の宮市民プール管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10/1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	444	559	2,233
モニタリングの回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	自主事業参加者数については一定の水準で推移している。自主事業目標値については、H31年度より指定管理者が変更したことにより事業内容が変わり、計画値についても大きく変わっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	54,151	61,597	60,585	平成32年度	63,500
成果指標分析結果	7月は高温注意情報による利用控え、8月は台風接近に伴う警報発令および低気温により、利用者数は前年度比で減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	武道館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成3年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立武道館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	武道の振興を支援するとともに、心身の健全な発達と体力の増進を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。武道館の利用を通じて、武道の振興を支援する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	8,177千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	99千円
	一般財源	8,078千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	8,177千円	8,177千円	8,177千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	武道館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	3,912	3,986	4,333
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	40,055	41,385	39,514	平成35年度	42,900
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	平荘湖アクア交流館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成21年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立屋内温水プールの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度への移行に伴い、現在は民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は、自主事業のスイミングスクールを中心に多くの住民が利用している。しかし、施設の老朽化が進んでいるため大規模改修、建て替えについても多額の費用が必要となる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	61,099千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	23,525千円
	一般財源	37,574千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	035ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	61,099千円	63,295千円	61,099千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 公共施設等総合管理計画に基づきH30年度末をもって廃止した。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	平荘湖アクア交流館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指定管理者自主事業入場者数	人	15,661	13,949	9,396
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	80,334	82,529	83,842		
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネススポーツ推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成18年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ振興基本計画

【事業概要】

現状と課題	市民マラソンブームが到来するなど、スポーツ活動の参加機会を求める市民ニーズは高まりを見せている。また、東京オリンピックの開催が迫り、見るスポーツへの関心も高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツイベント開催により、市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	総合体育館を拠点としたトップアスリートによるスポーツ観戦イベント及びスポーツ教室の開催

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,189千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,189千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	030ウェルネススポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,189千円	3,125千円	1,591千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	トップアスリートによるスポーツイベントの開催によって、競技スポーツの底辺拡大と振興を図り、市民のスポーツ・レクリエーション活動の参加機会を提供することのできる本事業は、施策の実現に不可欠である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネススポーツ推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
スポーツイベント開催数	回	2	2	1
スポーツ教室開催数	回	3	3	3
活動指標分析結果	事業開始以降、開催数を徐々に増やしており、トップアスリートによるスポーツイベントの開催都市として徐々に定着しつつある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
スポーツイベント来場者数	人	6,457	9,033	4,000	平成32年度	7,000
スポーツ教室参加者数	人	309	264	297	平成32年度	500
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	63.4		平成32年度	80
成果指標分析結果	来場者数等は年度によって多少の増減はあるものの、事業開始時より増加傾向にある。また、スポーツ・レクリエーションの活動機会には一定の市民満足度を得ている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ツデーマーチ事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成2年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	平成30年度加古川ツデーマーチ事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	本大会の参加者数は、平成9年度に開催した大会にピーク(21,859人)を迎え、直近5年間では7千500人～8千500人で推移。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	1. イベント開催によるスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。2. 全国のウォーカーと地域住民等とのふれあいを通じて、にぎわいの創出や交流の拡大を目指す。3. 自然や歴史資源の再発見により市民のふるさと意識の醸成を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	2日間に渡り市内及び近隣町を歩くウォーキングイベント「加古川ツデーマーチ」を企画・運営する加古川ツデーマーチ実行委員会に対して補助金を交付する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	11,000千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	11,000千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	005ツデーマーチ事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	11,000千円	11,500千円	9,000千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民の健康増進や交流の拡大、まちのにぎわい、自然とのふれあい等、「ウェルネス都市」を体感できるイベントとして、また、観光資源の有効活用、市民のふるさと意識の醸成を図る手段としても、当該事業を実施する意義は大きく、補助金交付を継続していくべきと考える。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	ツデーマーチ事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
参加者数	人	8,398	8,366	8,258
実行委員会収支予算額	円	26,900,000	27,260,000	25,310,000
活動指標分析結果	参加者数は、平成9年度をピークに減少しているものの、直近5年間では一定の水準を維持している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
市内在住の申込者数	人	3,448	3,320	3,408	平成32年度	5,000
市外在住の申込者数	人	2,446	2,206	2,468	平成32年度	3,200
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	63.4		平成32年度	80
成果指標分析結果	当日の天候によって変動しやすい。参加者は市内・市外の比率はほぼ一定。満足度との相関は不詳。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	レガッタ普及事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ振興基本計画

【事業概要】

現状と課題	直近3年の市民レガッタは160チーム前後で推移。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民レガッタ、関西学生秋季選手権、小学生ボート体験教室の開催、また、クルーの目標となる全国市町村交流レガッタ大会への出場機会を作ることにより、ボート競技の普及及びスポーツの振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	レガッタ大会や体験教室を開催し、ボート競技を通じて青少年の育成を考え、加古川流域のまちの活性化を図る加古川レガッタ実行委員会に対して補助金を交付する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	7,774千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	7,774千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	055レガッタ普及事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	7,774千円	9,803千円	8,171千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公開事業評価を受け、全国大会へのクルーの派遣費用の負担見直しを行った。また、令和元年度より業務を委託から補助へ変更する等事業全体の変更を行ったところであり、その効果について分析が必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	レガッタ普及事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
全国ボート場所在市町村協議会収支予算	円	6,540,000	7,010,000	7,630,000
レガッタ普及事業委託料	円	7,287,000	6,666,000	10,463,000
レガッタ普及事業補助金	円			
活動指標分析結果	交流レガッタは協議会加盟市町村の持ち回りで開催しており、開催地や大会内容によって予算が大きく異なるため、計画値・目標値の設定は馴染まない。また参加チームは、加盟市町村から一定数が出場するため、大幅な増減はない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
加古川市民レガッタ大会参加者数	人	690	927	810	平成32年度	1,000
漕艇センター利用者数	人	18,262	22,628	22,397	平成32年度	20,000
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	63.4		平成32年度	80
成果指標分析結果	参加者・利用者数は多少増減があるものの、一定の水準を維持しており妥当なものと考えられる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川マラソン大会補助事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成1年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ振興基本計画、平成30年度加古川マラソン大会事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	15回大会(15年度)に、加古川みなもロードの創設にあわせ初のフルマラソンを実施。以降、現在までフルマラソンを継続実施。近年のブームで大阪・神戸などの大都市で相次いでフルマラソン大会が誕生するなかでも、申込者は6000名以上となる状況。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	陸上競技の底辺拡大およびスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民参加型のフルマラソンイベント「加古川マラソン大会」を企画・運営する加古川マラソン大会実行委員会に対して、補助金を交付する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	1,200千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,200千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	025社会体育補助事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	1,200千円	1,200千円	2,200千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及・促進を図る手段として当該事業の意義は大きい。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川マラソン大会補助事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	265,055	266,443

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
申込者数	人	6,290	6,479	6,477
実行委員会収支予算額	円	48,400,000	45,835,696	48,200,000
活動指標分析結果	大会の定員6500名を少し割り込んでいる。実行委員会収支予算額は、市補助金及び協賛金収入の増減によって多少の増減はあるが、一定の水準で推移。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
市内在住の申込者数	人	1,016	1,097	1,171	平成32年度	1,000
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	63.4		平成32年度	80
成果指標分析結果	多少の増減はあるが一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	いずみプラザ運営管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	いずみプラザは、市内で唯一の天然芝専用グラウンドゴルフ場を有し、幼児用キッズルームを利用した保護者の評判も概ね好評である。施設全体の利用者数は、市ホームページ等でのPR、口コミなどにより増加しているが、グラウンドゴルフ場の利用に関しては、天候に左右される傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	高齢者の健康増進、安心して子育てできる環境の整備及び市民相互の交流の促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民(こどもから高齢者)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	グラウンド・ゴルフ場、幼児用キッズルーム、芝生広場、研修室を提供する。

【コスト】

		平成30年度(決算見込)
事業費合計		9,428千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,484千円
	一般財源	7,944千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	01保健衛生費
目	01衛生総務費
細目	050いずみプラザ運営管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	9,428千円	9,407千円	9,179千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	研修室を利用していた団体の減少により利用者が579人減少した。また、グラウンドゴルフ場及びキッズルームの利用者は、6月の長雨・夏の異常気象(高温)・台風等の天候不順の影響により、対前年度比で1275人減少したが、市内唯一の天然芝専用グラウンドゴルフ場というセールスポイントをPRして利用者の増加を図る必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	いずみプラザ運営管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
全市民	人	263,000	265,000	266,000

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
施設利用者数	人	5,740	7,594	6,687
活動指標分析結果	施設利用者数が、対前年度比で1854人減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	5,740	7,594	6,687	平成32年度	8,000
成果指標分析結果	研修室を利用していた団体の減少により利用者が579人減少した。また、グラウンドゴルフ場及びキッズルームの利用者は、6月の長雨・夏の異常気象(高温)・台風等の天候不順の影響により、対前年度比で1275人減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	すばーく加古川管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成21年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	尾上地区
関連根拠法令等	加古川市立屋内ゲートボール場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	尾上公民館が行っていた管理運営を平成27年度から社会教育・スポーツ振興課で担っている。業務内容は利用許可、料金収納等である。年間350件程度の利用があり、経常的な維持管理費用の殆どを使用料収入で賄っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	屋内ゲートボール場すばーく加古川の維持管理及び施設の保守を適正に行うことにより、利用者の安全性、快適性を維持する。
対象 ※誰、何に対して	屋内ゲートボール場「すばーく加古川」
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	屋内ゲートボール場すばーく加古川の維持管理及び施設の保守を図る。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	1,019千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	702千円
	一般財源	317千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	05体育施設費
細目	005体育施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	1,019千円	1,106千円	1,100千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>すばーく加古川はゲートボールの拠点施設として市民に利用されているが、ゲートボールの競技人口の減少にともない、利用率も年々下がっている。今後、すばーく加古川の施設利用の範囲については、利用拡大に向けた見直しが必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	すばーく加古川管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	262,647	265,524	266,451

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
開館日数	日	310	308	308
施設利用率	%	29	31.5	34.4
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	9,030	10,192	8,963	平成32年度	10,000
成果指標分析結果	平成30年度は、前年度と比較して利用人数、利用率ともに減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	小学校夜間照明管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	平岡地区
関連根拠法令等	加古川市立学校の施設等の貸与に関する規則

【事業概要】

現状と課題	サッカーや地域の行事等に活用されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	夜間におけるグラウンドの利活用や社会人等のスポーツ活動の振興
対象 ※誰、何に対して	夜間における平岡北小学校グラウンド利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	「加古川市立学校の施設等の貸与に関する規則」の規定により、平岡北小学校運動場を夜間に利用する場合で、小学校に設置している夜間照明の使用を希望する者に対し、電気代実費分として規定の料金を徴収する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	194千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	41千円
	一般財源	153千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	05体育施設費
細目	005体育施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	194千円	182千円	165千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成30年度の利用日数は年間で22日間であった。照明を設置してから今年度で11年目であり、照明施設も老朽化してくるため、より適切な管理運営に努めたい。</p>

事務事業名	小学校夜間照明管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	体育、レクリエーション指導振興事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進審議会条例、加古川市スポーツ推進委員規則

【事業概要】

現状と課題	平成30年3月に、今後10年間のスポーツ施策の指針となる「加古川市スポーツ推進計画」を策定した。また、スポーツライフセミナーは平成19年度から、毎年参加者アンケートの結果を踏まえた内容で実施している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民スポーツの企画立案及び生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及、促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	スポーツ推進審議会、日ごろ運動・スポーツをする機会が少ない市民、スポーツ推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	スポーツ推進審議会によるスポーツ振興基本計画の進捗管理。スポーツライフセミナーによる、日ごろ運動・スポーツをする機会が少ない世代の市民に対するスポーツ啓発。教育委員会が委嘱したスポーツ推進委員の活動に対する報酬の支払い及び活動の補助。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,949千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,949千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	04体育振興費
細目	005体育、レクリエーション指導振興事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,949千円	6,886千円	5,680千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	スポーツ推進審議会においては、「加古川市スポーツ推進計画」の施策の進捗確認を行う。また、スポーツ推進委員会では、スポーツ実施率の向上に寄与する活動を進めるとともに、障がい者スポーツの普及なども取り入れ、幅広い対象者が参加できる内容を検討する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	体育、レクリエーション指導振興事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
スポーツ推進審議会	団体	1	1	1
週1回以上運動・スポーツを行う人の割合	%	48.2	48.2	48.2
スポーツ推進委員数	人	48	48	48

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
スポーツライフセミナー開催数	回	10	9	9
スポーツ推進審議会開催数	回	2	4	4
スポーツ推進委員活動回数(延べ数)	回	266	265	290
活動指標分析結果	今年度スポーツライフセミナーは10回全て開催することができ、昨年度より参加者も増加した。また、スポーツ推進審議会は2回開催し、スポーツ推進計画におけるスポーツ施策等の確認を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
スポーツライフセミナー参加者数(20代~50代)	人	150	123	214	平成31年度	300
スポーツ推進審議会委員出席率	%	70	65	80	平成31年度	100
スポーツ推進委員の対市民指導者数	人	1,199	601	1,106	平成31年度	1,000
成果指標分析結果	スポーツ推進委員の対市民指導者数は、昨年度と比較すると、市内小中学校を対象としたシッティングバレーボール体験など活動事業が増加し、市民に指導する機会が増加した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	体育協会事業補助金交付事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市補助金等交付規則、加古川市体育協会事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	加古川市体育協会は創立70年を超える歴史があり、28の種目協会が、各種目の市民への紹介、また各競技における選手の育成に寄与している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市のスポーツの競技団体を統括する加古川市体育協会を通じて、スポーツの普及や競技スポーツの強化、スポーツ振興を図るため、協会への補助を行う。
対象 ※誰、何に対して	加古川市体育協会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市体育協会の行う事業のうち、28の種目協会が行う市民大会等の支援事業、体育功労者及び優秀選手、優秀チームの顕彰、健康・体力づくり事業、国体出場者激励会に対して補助を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	1,888千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,888千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	04体育振興費
細目	010社会体育補助事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	1,888千円	1,755千円	1,888千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市民のスポーツ実施率向上に向け、各種目協会が創意工夫を凝らして市民が参加しやすい事業を実施しており、本補助金は有効に使われていると判断している。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	体育協会事業補助金交付事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市体育協会	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
健康・体力づくり事業 実施割合	%	67.8	67.8	57.1
活動指標 分析結果	市民がスポーツに慣れ親しむ場を提供する『健康・体力づくり事業』を各種目協会が企画し実施しているが、実施している種目協会について平成30年度は、19種目協会ですべて28種目協会の半数以上に達している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
健康・体力づくり参加 人数(一般市民)	人	1,756	1,366	934	平成32 年度	1,650
成果指標 分析結果	健康・体力づくり事業への一般市民の参加者を増加させる対策を、体育協会及び各種目協会が鋭意工夫を行い、市民がスポーツに慣れ親しむ場を拡大していく必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	オリンピック・パラリンピック スポーツ推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成30年度～平成30年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において「ホストタウン」の認定を受けたことから、スポーツへの関心を高め、スポーツの参画人口の拡大をはかり、健康の保持増進につなげていく。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツ参画人口の拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、スポーツを通じた機運醸成事業をはじめ、スポーツサポーター(ボランティア)の養成。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	4,845千円	
財源内訳	国庫支出金	0千円
	県支出金	461千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,384千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	04体育振興費
細目	020オリンピック・パラリンピック スポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	4,845千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	オリンピック・パラリンピック競技大会に関する事業については、ホストタウン事業など関連事業も含め、来年度以降、市の事業として拡充する必要があるため、市長部局にて事業を進めることが妥当である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	オリンピック・パラリンピック スポーツ推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4/1 付推計人口）	人	262,647		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
イベント参加者数	人	362		
活動指標 分析結果	イベントのPRが関係団体へできなかったため、関係部署及び団体への連絡調整の体制を整える必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
スポーツサポーター養成 成人数	人	28			平成32 年度	90
成果指標 分析結果	スポーツサポーターはスポーツの指導者ではなく、運営サポートに重点をおいており、「ささえるスポーツ」としての重要な役割を担うことから、計画的な育成と活動の場を提供する必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	障がい者スポーツ推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成30年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、スポーツに機運が高まるとともに、大会ビジョンの一つである「多様性と調和」を見据え、スポーツを通じた共生社会の構築が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	障がい者スポーツの理解と障害の有無にかかわらずスポーツに親しめる環境づくりをめざす。
対象 ※誰、何に対して	障害の有無にかかわらずスポーツに興味がある市民、スポーツ推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	スポーツに親しむ機会の提供

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	791千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	391千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	400千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	04体育振興費
細目	025障がい者スポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	791千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	障がい者スポーツの認知度を高めるためには、実施機会の増加を図るとともに、継続したスポーツとなるよう関係部局や団体等と連携し、ニーズに応じた事業の実施が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	障がい者スポーツ推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
18歳未満の市民(4/1付住民基本台帳人口)	人	216,843		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
障がい者スポーツイベント回数	回	6		
スポーツ推進委員における障がい者スポーツ活動者数	人	45		
活動指標分析結果	平成30年3月に策定した「スポーツ推進計画」に基づき障がい者スポーツの理解と普及にかかる取組を関係部署と年次計画を調整し、効果的な事業実施に努める。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
障がい者スポーツイベントの参加者数	人数	250			平成38年度	600
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7			平成38年度	70
成果指標分析結果	障がい者スポーツのニーズを把握するため意見調査をするとともに、スポーツイベントのPR方法など、関係部署との連携体系を構築する必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	野外活動センター管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立野外活動センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	開設後、年次的拡張整備を行うとともに、市民の生涯学習の場として平成5年度に宿泊館、平成6年度に工作館が竣工した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自然とのふれあいを通して子ども達の健全育成を図るとともに、市民の生涯学習を推進する。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	青少年の野外活動の場の提供、家族・小グループの憩いふれあいの場の提供、木工工作の場の提供を行う。

【コスト】

		平成30年度(決算見込)
事業費合計		4,057千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,174千円
	一般財源	2,883千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	06野外活動センター費
細目	005野外活動センター運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	4,057千円	3,991千円	4,332千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>子ども達を心身共に健全に育むためには、自然とのふれあいや野外活動体験は不可欠であり、市民に生涯学習の場を提供するためにも野外活動センターの運営は今後も引き続き継続していく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	野外活動センター管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
4才から70才までの市民	人	212,141	214,500	215,056

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
野外活動センター開所日数	日	305	303	313
活動指標分析結果	平成25年度から夏休み期間を無休にし利用団体の利便性を図っているが、今後は祝日も開所するなど更なる利便性を検討する必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
野外活動センターの利用者数(実人員)	人	8,370	10,164	8,731	平成32年度	10,000
野外活動センターの利用団体数(実件数)	件	1,318	1,462	1,699	平成32年度	1,500
成果指標分析結果	平成30年度における利用予約受付件数は平成29年度と概ね同等であったが、気象警報発令にともなうキャンセルが例年より多くあったため、成果指標が著しく減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	野外活動センター維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市野外活動センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	施設・設備の老朽化が進んでいる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	野外活動センター(野外施設、宿泊館、工作館)各施設維持管理を行い、施設利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。
対象 ※誰、何に対して	野外活動センター(屋外施設、宿泊館、工作館)の各施設及び設備等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	野外活動センター(野外施設、宿泊館、工作館)の各施設及び設備等の維持補修を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	16,995千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,580千円
	一般財源	14,415千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	08保健体育費
目	06野外活動センター費
細目	010野外活動センター維持補修事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	16,995千円	16,151千円	16,225千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 自然学校をはじめ各種青少年団体の野外活動体験実施施設として、今後も開所が必要である。そのため、適正な維持補修を行っていく。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	野外活動センター維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
野外活動センター開所日数	日	305	303	313

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
野外活動センター開所日数	日	305	303	313
活動指標分析結果	適正に維持管理を実施したため、予定どおりの開所日数であり、メンテナンス不足による休所日はなかった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
野外活動センターの利用者数(実人員)	人	8,370	10,164	8,731	平成32年度	10,000
故障・事故による施設休止日数	日	0	0	0	平成32年度	0
成果指標分析結果	快適な環境を提供すれば利用者増が見込める。					